

あきたの りょうりいかちと

VOL. 492
2016.11.25

「湯沢市の大名行列」

写真は、佐竹南家の格式を持つ湯沢市の伝統行事である大名行列の様子です。今年は昨年よりも1ヶ月遅い9月25日に本祭が開催されましたが、児童が扮する馬上の殿様をはじめ、総勢数百人で市内を練り歩く豪華絢爛な姿は、当時の大名行列の華々しさを感じさせるものとなっております。

写真提供：木村 恭平
(山田五ヶ村堰土地改良区)



イメージキャラクター
みどりちゃん



CONTENT 1 秋田県土地改良事業推進大会

CONTENT 2 第39回全国土地改良大会石川大会



平成28年度 秋田県土地改良事業推進大会

農業農村整備予算概算要求額の満額確保に向けて

11月2日、湯沢文化会館で第139回秋田県種苗交換会の協賛行事として、本会主催による「平成28年度秋田県土地改良事業推進大会」が会員及び関係者など約1,050名が参集し、開催された。

歓迎のことばを、湯沢市協賛会の齊藤光喜会長（湯沢市長）が述べたほか、松尾元東北農政局長や佐藤博秋田県農林水産部部長、木村一男種苗交換会会



▲挨拶をする高貝会長

頭（J A秋田中央会会長）が祝辞を述べられた。

大会では、高貝会長が「農業の成長産業化は、強固な生産基盤の存在が前提となる。予算確保の取組を進め、農業農村整備事業を着実に実施したい」と挨拶した。



▲大坂議長

次に、土地改良功労及び功績者表彰と21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、6団体 8個人が表彰された。議事に入ると、雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区大坂芳市理事長が議長となり、秋田県農林水産部の瀧川拓哉次長に

よる「秋田県農業農村整備事業の現状報告」に続いて、稲川土地改良区の阿部進事務局長が大会決議を読み上げ、満場一致で採択し、閉会した。

なお、今回表彰された、団体、個人は、次のとおり。



▲大会決議を読み上げる阿部事務局長

目次 CONTENTS

平成28年度秋田県土地改良事業推進大会	2	ちよつと耳より知恵袋	12
第39回全国土地改良大会石川大会	4	おらほの自慢っこ～来てけれ！秋田市～（産業振興部産業企画課：加藤優子）	13
参議院選挙に寄せて（進藤金日子参議院議員）	5	ようこそ改良区へ（秋田県協和土地改良区：池田 斉）	14
全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会	6	随想（秋田県雄物川筋土地改良区：大沢鐘代）	15
農地中間管理事業の推進に向けた取組	7	連合会日誌、会員だより	15
水土里ネットのスキルアップ研修会	8	水土里レポーターによる写真投稿（秋田県協和土地改良区：斎藤善嗣）	16
ため池フォーラム in わかやま	9	水土里の輪	16
水土里の野菜倶楽部～仁井田大根へのチャレンジ～	10	リレー感想文（稲川土地改良区：沼倉美知子）	16
農業農村整備フェア	11	編集後記	16

土地改良功勞表彰

【知事表彰】

◆団体

能代南土地改良区（理事長 小川善信）

秋田市孫左衛門堰土地改良区（理事長 鎌田諄）

◆個人

小川 善信（能代南土地改良区理事長）

大坂 芳市（雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区理事長）

牧野 一（琴丘土地改良区事務局長）

21世紀土地改良区創造運動表彰

【県知事賞】

羽後町土地改良区（水土里ネットうご）

理事長 柴田 均

【奨励賞】

琴丘土地改良区（水土里ネット琴丘）

理事長 田中 長

秋田県仙北平野土地改良区（水土里ネット仙北平野）

理事長 伊藤 稔

【特別賞】

秋田県土地改良事業団体連合会平鹿支部

支部長 柴田康二郎

土地改良事業功績者表彰

【会長表彰】

松田 良明（大館市二井田真中土地改良区前理事）

安田 友一（新城川土地改良区理事長）

佐藤 毅（秋田県仙北平野土地改良区管理課長）

佐々木輝雄（秋田県雄物川筋土地改良区理事）

柴田 均（羽後町土地改良区理事長）



記

- 1 計画的・安定的な土地改良事業執行のため、平成29年度当初予算において、地域の要望に十分応えられる規模の農業農村整備事業関係予算を確保すること。
- 1 T P P 協定が発効するまでに、安全・安心な食を安定的に供給している国内農家の経営に支障を生じさせないように、T P P 関連政策大綱に従い施策を策定し実施すること。
- 1 生産コストを削減し、収益性の高い農業経営を実現するため、農地中間管理機構とも連携を図りつつ、担い手への農地集積・集約化や、ほ場の大区画化、汎用化等の農地整備を推進すること。
- 1 国民に多くの恵沢をもたらす農業・農村の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、日本型直接支払制度の活用を広める取組を推進すると共に、それに応じた予算の確保を図ること。
- 1 ため池・用排水路などの農業水利施設について、自然災害の激甚化に対応した防災・減災対策、並びに長寿命化に向けた戦略的保全管理を推進すること。
- 1 土地改良区の公益的な役割を評価し、運営基盤の強化と管理体制・人的資源の充実に向け、更なる支援に取り組むこと。
- 1 小水力発電など、農業・農村に関連する再生可能エネルギーの有効活用を円滑に推進するため、施策の充実を図ること。

平成28年11月2日

秋田県土地改良事業推進大会

第39回全国土地改良大会石川大会

水土里の明日を
築く土地改良

今こそ未来へつなぐ

10月25日、「第39回全国土地改良大会石川大会」が加賀百万石の地、金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催され、全国から参加した関係者約4,300人が一同に会し、農業・農村の重要性とそれを支える土地改良事業の役割を再認識した。

式典は、石川県土地改良事業団体連合会の西村徹会長の開会挨拶に続き、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長が主催者挨拶を行い、「我々は『闘う土地改良』を活動の基本に置きながら、ここから新しい時代の農業に向かって前進して行かなければならない。大会や事業視察を通じて、土地改良が石川県の農業農村に果たしてきた役割を肌で感じ、改めて我々に課せられた使命の重要性を認識していただき、その上で皆さんが土地改良を通して各地域の課題を解決し、地域農業の振興にどのように貢献できるかお互いに考える絶好の機会にさせていただく事が重要である」と呼びかけた。



▲挨拶をする二階俊博全土連会長

また、谷本正憲石川県知事と山野之義金沢市長が歓迎の言葉を、磯崎陽輔農林水産副大臣、進藤金日子参議院議員も祝辞を述べた。

同じく行われた「土地改良事業功績者表彰」では、秋田県関係として北秋田市土地改良区の春日正一副理事長が、全土連会長表彰を受けたほか、農林水産省農村振興局の室本隆司次長と石川県立大学



▲春日副理事長

の丸山利輔参与による基調講演、北陸地方の優良地区事例紹介に続き、石川県立大学で環境科学を学ぶ学生2名が大会宣言を読み上げた。

本会の高貝会長も、全土連の副会長として土地改良事業功績者への賞状授与と、次期開催の静岡県へと大会旗の引き継ぎを行った。なお、第40回全国土地改良大会は、平成29年10月25日に静岡県沼津市での開催が決定している。



▲高貝全土連副会長



▲秋田県からの参加者